

第143回 伊丹市内企業の景気動向調査

本所では、伊丹市内企業の景気動向を把握するため、四半期ごとに標記調査を実施しているが、このほど、第143回調査の結果を取りまとめた。本調査時点は10月初旬、調査対象期間は平成28年7月～9月期、景気動向については「直前期」、経営動向については原則として「前年同期」と比較してもらった。

今回の調査結果（回答77社）によると平成28年7月～9月の景気実績は「上昇」回答6.5%（前回2.9%）、「下降」回答36.4%（前回29.4%）、景気見通しは、「上昇」回答5.2%（前回1.5%）、「下降」回答32.5%（前回33.8%）となった。最低賃金引き上げによる影響については下記の通り。

〔回答企業の業種別分布〕

業種 項目	対象数 (社)	回答数 (社)	回答率 (%)	構成比 (%)
一般工業	52	31	59.6	40.3
食料品工業	17	10	58.8	13.0
商業	19	11	57.8	14.3
建設業	21	10	47.6	13.0
運輸業	20	9	45.0	11.7
サービス業	21	6	28.5	7.8
全業種	150	77	51.3	100.0

〔産業別業況DI値〕

	業況	売上	採算	仕入単価	従業員
一般工業	▲32.3	▲29.0	▲19.4	▲25.8	35.5
食料品工業	0.0	0.0	0.0	10.0	40.0
商業	▲54.5	▲54.5	▲27.3	▲72.7	18.2
建設業	10.0	▲10.0	0.0	▲60.0	70.0
運輸業	▲22.2	▲22.2	▲11.1	▲22.2	22.2
サービス業	▲83.3	▲66.7	▲66.7	▲66.7	33.3
全業種	▲28.6	▲28.6	▲18.2	▲35.1	36.4

(注) DI = (増加、好転などの回答割合) - (減少、悪化などの回答割合)
業況、採算：(好転) - (悪化) 売上：(増加) - (減少)

〔景気動向について〕

業界の景気

	上昇		横ばい		下降	
	今回	前回	今回	前回	今回	前回
一般工業	3.2	0.0	64.5	65.4	32.3	34.6
食料品工業	10.0	0.0	70.0	100.0	20.0	0.0
商業	0.0	0.0	27.3	50.0	72.7	50.0
建設業	20.0	0.0	50.0	77.8	30.0	22.2
運輸業	11.1	0.0	55.6	62.5	33.3	37.5
サービス業	0.0	25.0	66.7	50.0	33.3	25.0
全業種	6.5	2.9	57.1	67.6	36.4	29.4

今後の景気の見通し

	上昇		横ばい		下降	
	今回	前回	今回	前回	今回	前回
一般工業	6.5	0.0	71.0	69.2	22.6	30.8
食料品工業	10.0	0.0	70.0	88.9	20.0	11.1
商業	0.0	0.0	27.3	62.5	72.7	37.5
建設業	10.0	0.0	60.0	66.7	30.0	33.3
運輸業	0.0	0.0	66.7	50.0	33.3	50.0
サービス業	0.0	12.5	66.7	37.5	33.3	50.0
全業種	5.2	1.5	62.3	64.7	32.5	33.8

最低賃金引き上げによる影響

	1	2	3	4	5	6
一般工業	71.0	9.7	6.5	3.2	9.7	0.0
食料品工業	40.0	30.0	10.0	20.0	0.0	0.0
商業	63.6	27.3	9.1	0.0	0.0	0.0
建設業	90.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0
運輸業	44.4	33.3	0.0	0.0	11.1	11.1
サービス業	66.7	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0
全業種	64.9	15.6	6.5	3.9	7.8	1.3

1. (自社の経営に) 特に影響なし
2. 人件費が増大したが、特に対応はとれなかった
3. 設備投資の抑制等、人件費以外のコストを削減している
4. 正社員の残業時間を削減した
5. 役員報酬を削減した
6. 正社員の採用を抑制した

その他対策案等 ※一部抜粋

全工程の生産効率化を徹底
新商品の開発、新規得意先の開拓
残業時間の見直し削減を検討